

FOOMA JAPAN 2022 (国際食品工業展) 第6回バイオ医薬EXPO

2022年6月7日(火) - 10日(金)の4日間、東京ビッグサイト東1-8ホールにて「FOOMA JAPAN 2022 (国際食品工業展)」、7月13日(水) - 15日(金)の3日間、東京ビッグサイト西展示棟にて第6回バイオ医薬EXPOが開催されました。出展した会員企業4社(社名五十音順: 岩谷産業株式会社、CBC株式会社、帝人フロンティア株式会社、長瀬産業株式会社)を取材しましたので、ご紹介します。



岩谷産業株式会社



CBC株式会社



帝人フロンティア株式会社



長瀬産業株式会社

※FOOMA JAPAN2022には岩谷産業株式会社、帝人フロンティア株式会社、長瀬産業株式会社の3社が出展、第6回バイオ医薬EXPOにはCBC株式会社が出展しました。本誌で掲載しきれなかった展示写真等を月報オンラインでご覧いただけます。

<https://www.jftc.jp/monthly/>



岩谷産業株式会社 (FOOMA JAPAN 2022に出展)

ガス置換包装技術、トンネルフリーザー、酸素溶解装置の紹介

当社は、さまざまなガス製品を主軸としたガス置換包装技術、トンネルフリーザー、酸素溶解装置の三つを紹介した。ガス置換包装技術は、メーカーと協業し、包材や機器類と合わせてユーザーの製品品質向上をワンストップでサポートする。商品包装時に用途に応じて窒素ガス、炭酸ガスの混合比率を変化させ、酸化防止、静菌効果を最大



ガス置換包装技術の展示

限に高めることができる。商品の品質保持に有効なため、各種食材の賞味期限延長が可能であり、すでにコンビニエンスストア等で利用実績がある。トンネルフリーザーは、機器内部のベルトコンベヤー上を流れる食品にピンポイントで液体窒素を噴射し、急速冷凍させる製品。食品の鮮度を保持したまま長期保存できる。酸素溶解装置「酸素ファイター」は、食品工場から出た排水に酸素を溶解し、微生物の活動を活性化させて水の浄化を助ける製品。水質改善は魚類の陸上養殖にも応用可能であり、餌食いの促進、飼育スピード調整にも活用できる。これらはフードロス削減や水質保全に貢献できるサービスであり、ユーザーのSDGsへの取り組みをバックアップする。

現場の声

岩谷産業株式会社 産業ガス本部 エアガス部 ^{かくの}角野 ^{あきほ}亨歩 氏

私の所属する部門は少数精鋭チームで、一人一人がしっかりとお客さまに対応することで販売網を広めています。入社3年目ですが、先輩方を見習いつつ、毎日一つでも技術を覚える意識で業務に臨んでいます。当社が提供するサービスのメリットをお客さまにご理解いただくため、自分自身が心底から自信を持って機器や技術をご説明することを徹底しています。



ガスの安定供給をPRしつつ、小さな仕事にもストイックに取り組む姿勢が、シェアの拡大につながっていくと信じています。商社らしさを発揮するためには、協業してくださる企業との対話も重要です。お客さまのニーズは多様であり、お困り事に手が届くよう、特徴ある取り組みを持つ企業同士の横のつながりを大切にしています。ユーザーの皆さまに私たちの持つガス技術をご理解いただき、商社とメーカー機能を併せ持つ岩谷産業らしさを活かして今後も取り組んでいく所存です。

帝人フロンティア株式会社 (FOOMA JAPAN 2022に出展)

お客様の声から生まれた衛生管理商品

当社は、ソフトニトリル手袋、衛生マスク、ヘアキャップ、キッチンワイパー、ぴったりグローブ、アームカバーの六つの衛生管理商品を紹介した。ソフトニトリル手袋は薄手・厚手、パウダーフリー・パウダー付きを取りそろえ、優れた伸縮性と圧迫感の軽減により長時間の作業に適する。衛生マスクは、薄手・厚手のラインアップはも



展示の様子

ちろんのこと、耳かけタイプ・頭かけタイプとそのワイド幅仕様も取りそろえ、用途に応じて選択可能。ぴったりグローブは指部分の波形の形状により絞り効果を発揮し、ずれにくく作業性に優れる。ヘアキャップ、キッチンワイパー、アームカバーを含めて、顧客の声を商品の改良に活かし、当社の得意とする繊維分野における国内外の生産ネットワークを駆使して取り扱いを増やしてきた。当社はこれからも、繊維原料から最終製品までを「つくる力」と、顧客、調達先、市場などを有機的に「つなぐ力」を持った繊維専門商社として、二つの力を融合し、最適なソリューションや新しい価値を提供し続ける。

現場の声

帝人フロンティア株式会社 生活製品本部

ウェルライフ部 ウェルライフ課 課長 ^{もりかわ} 森河 ^{しんじ} 眞司 氏

当部は元々、エレクトロニクス工場向けの手袋を主に製造していましたが、私が来て12年間で食品工場向けのラインアップを強化しました。こちらで展示できる製品群にまで育てられたのはお客様の声があったことです。私の企業人生でお客様との対話は最も重要でした。帝人フロンティアの看板を背負っている私自身をお客様に知っていただくハート・トゥ・ハートの営業を心掛けてきました。お客様の声を聴き、製品細部へのこだわりを磨き、製品の質とコストのバランスを見極めた開発、調達に妥協することなく取り組んできました。コロナ禍で輸入が止まってしまい苦しみましたが、長年培ってきたネットワークを活かして可能な限り早く流通網を確保できたと思います。展示会は新しいお客様のお困り事を伺うことでモノづくりのきっかけが得られるので、こうして再開することができ本当にうれしいです。もう少しで定年を迎えますが、先輩方から私が受け継いだように、後輩たちに大切なお客さまを引き継ぎたいと思っています。



長瀬産業株式会社 (FOOMA JAPAN 2022に出展)

排水、排ガス処理、脱炭素技術の提供による環境ソリューション

当社は、多種多様な工場の課題解決による社会価値と経済価値の向上を目指して活動している。今回、排水、排ガス処理、脱炭素の三つの環境ソリューションを紹介した。2019年末にNAGASEグループに加わった株式会社アイエンスの高効率散気装置「アクアブラスター」、特殊脱臭装置「デオライザー」を展示。「アクアブラスター」は特徴的な構造を有し、油分およびSS分^(注)の破碎や酸素溶解効率を上昇させ、処理性向上を実現する。「デオライザー」に内蔵されている特殊スクリーンは、水膜形成による高効率な脱臭効果や、交換が容易で優れたメンテナンス性を発揮することで、工場の臭気問題とランニングコスト低減に貢献する。

工場の脱炭素を後押しするサービスとして、株式会社ゼロボードによるCO₂排出量算出・可視化クラウドサービス「zeroboard」、オプテックス株式会社によるIoT水質データ監視システム、日本カーボンマネジメント株式会社による省エネルギー診断技術を取りそろえた。当社は、工場の環境課題解決を通して、顧客と共に新しいビジネスを創出し続ける。

注…水中に浮遊する粒子径2mm以下の不溶性物質の総称 (Suspended solids)。



三つの環境ソリューションの概要



ブース中央には排ガス処理システムの排気口を模した展示物を配置

現場の声

長瀬産業株式会社 スペシャルティケミカル事業部

スペシャルティ第一部 環境ソリューション課 課統括 井上 亮 氏

環境ソリューション事業は新規事業に当たり、日々新たな課題が見つかりその解決に奔走しています。一方、新規事業を創造する面白みも感じています。また、NAGASEグループの取引先が抱える課題を解決した結果、取引先の企業価値向上に貢献できることに、メンバーはやりがいを感じてくれています。近い将来、多くのメンバーがチームに加わり、当社の一つの事業となるように育てていきたいと思っています。今後も当社の目指す姿に共感して下さるパートナー企業を発掘し、それら企業と協業して、より多くの取引先の課題を解決できるよう取り組んでいきます。

